

九響 × 唐津

小泉和裕指揮、九州交響楽団の管弦楽、
市民合唱団の歌声により、
幻の合唱組曲に、いま命が吹き込まれる！

合唱組曲『唐津』演奏会

第1部 九響と市民合唱団による

合唱組曲『唐津』

作詞/栗原一登
作曲/團伊玖磨

指揮:小泉和裕
(九響音楽監督)

第2部 ベートーヴェン 交響曲 第5番『運命』



※写真はイメージ (提供:九州交響楽団)

指揮:小泉 和裕
管弦楽:九州交響楽団
ソプラノソロ:川野 久美子
合唱:合唱組曲『唐津』市民合唱団
合唱指導:永富 啓子

公演 / 2016年10月10日(月・祝)

開演:午後3時 (開場:午後2時)

会場 / 唐津市民会館 大ホール

佐賀県唐津市西城内6-33 TEL.0955-72-8278

入場料…A席(指定)3,000円 B席(自由)一般2,000円[高校生以下1,000円] / チケット発売 7月1日(金)

チケット取扱所 唐津市民会館、唐津市相知交流文化センター、まいづる本店ショッピングプラザ
まいづるスリーナイン、唐津商工会議所、唐津上場商工会本所、唐津ケーブルテレビジョン
FMからつ・Network Stationまつろ (大手口センタービル3F)
チケットぴあ TEL:0570-02-9999(Pコード302-554)

※A席(指定)は唐津市民会館のみの販売となります。※演奏中の入退場および未就学のお子様のお入場はご遠慮ください。

主催:合唱組曲「唐津」実行委員会・唐津市・唐津市教育委員会 (事務局:株式会社唐津ケーブルテレビジョン)

助成:公益財団法人金子財団、宝くじ社会貢献広報事業

お問い合わせ:唐津市交流文化スポーツ部 文化振興課 〒847-8511 佐賀県唐津市西城内1-1

TEL:0955-53-7129 FAX:0955-72-9182



埋もれていた幻の名曲

合唱組曲『唐津』



指揮 小泉 和裕 (九響音楽監督)

73年カラヤン国際指揮者コンクール第1位。以後、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、シカゴ響、ロイヤル・フィル等に客演。現在、九響音楽監督、都響終身名誉指揮者、名古屋フィル音楽監督、仙台フィル首席客演指揮者、神奈川フィル特別客演指揮者。

写真提供：(一社)唐津観光協会

第1部 九響と市民合唱団による 合唱組曲『唐津』

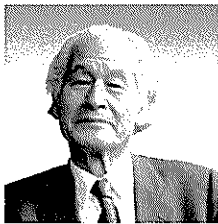
戦後日本を代表する作曲家・團伊玖磨氏、劇作家・作詞家の栗原一登氏により1982年に制作された合唱組曲『唐津』。唐津の自然や文化を叙情豊かに綴る、全7曲、およそ35分の大曲です。しかし完成後、一部が発表されたものの全曲の演奏は行われず永らく埋もれたままになっていました。この幻の名曲に命を吹き込み、“ふるさとの宝”として育てていこうと、2015年3月、実行委員会が発足。約200名の市民合唱団を結成し、同年8月より練習を重ねています。そして今年10月10日、小泉和裕氏指揮、九州交響楽団の管弦楽とともに、地元唐津での全曲初演がついに実現します。



作曲 團 伊玖磨(だん いくま)

1924年(大正13年)4月7日～2001年(平成13年)5月17日

作曲家、エッセイスト。東京都生まれ。東京音楽学校を卒業後、オペラ、交響曲、歌曲などのクラシック音楽をはじめ、童謡、映画音楽、合唱曲、校歌など幅広いジャンルを手がけた。日本を代表する作曲家。『夕鶴』『ぞうさん』『花の街』、随筆『パイプのけむり』など作品多数。



作詞 栗原 一登(くりはら かずと)

1911年(明治44年)5月24日～1994年(平成6年)12月19日

作詞家・劇作家。福岡県八女市矢部村生まれ。小倉師範学校に進学、教員となる。のち上京、日本大学芸術科を卒業後、俳優教育、劇作、教育演劇の分野で活躍。戦後は小・中・高校の国語教科書の編纂にも携わった。合唱組曲『唐津』のほか、組曲『北九州』『横須賀』『筑後風土記』を作詞。校歌も多数作詞。

第2部 ベートーヴェン 交響曲 第5番 ハ短調 作品67 『運命』

世界的に活躍する指揮者・小泉和裕氏。その小泉氏が音楽監督を務める九州交響楽団。日本トップクラスのクラシック演奏を唐津で体験できる機会が今回、実現します。演目は、誰もが知るクラシック音楽の金字塔、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンの『運命』(交響曲第5番 ハ短調 作品67)。ベートーヴェンの創作活動における一つの頂点と評される名曲です。唐津にもお住まいを持ち、唐津を第二の故郷と公言される小泉氏が、「唐津の皆さまに最高の音楽をお届けしたい」との特別な思いをもって選曲されました。